

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成25年6月1日現在

機関番号：32651

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2010～2012

課題番号：22510295

研究課題名（和文） 女性医師の専門分野別勤務形態の特徴とキャリア継続への可能性の検討

研究課題名（英文） Characteristics of work pattern in different specialties and possibility of continuing career among women physicians

研究代表者

川瀬 和美 (KAWASE KAZUMI)

東京慈恵会医科大学・医学部・講師

研究者番号：50287306

研究成果の概要（和文）：

我が国における医師不足、医師数の診療科、地域による偏在は現在深刻化しているが、女性医師が仕事と家庭の両立のために診療科や勤務地を選択したり、両立が図れず勤務を断念してしまうことが大きな要因の一つと考えられる。この問題を解決すべく本研究では、各診療科における勤務の特徴と抱える問題点と改善策を検討した。

研究成果の概要（英文）：

Currently, physician shortage and maldistribution of physicians in specialty/region are growing problem in Japan. It is one of the reasons of these problems that wome physicians have to give up their current work because of difficulty maintaining work-life balance. To elucidate these problems, we compared the characteristics and issues among different specialties and assessed the possible improvement plan.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2010年度	900,000	270,000	1,170,000
2011年度	900,000	270,000	1,170,000
2012年度	900,000	270,000	1,170,000
年度			
年度			
総計	2,700,000	810,000	3,510,000

研究分野：複合新領域

科研費の分科・細目：ジェンダー・ジェンダー

キーワード：男女共同参画、経済・労働

1. 研究開始当初の背景

近年、女性の社会進出が進み、さまざまな分野で働く女性の数が増加している。将来を見据えて専門的な教育を選択する傾向は男性以上に見られ¹、仕事と家庭を両立させながら働き続ける女性の数も増加している。実際、厚生労働省の発表したわが国での大学卒業労働者数も年々増加傾向がみられているが、大学・大学院卒業者については、卒業後すぐの有業率は高いものの結婚や出産、育児を機に早期に離職し、復帰しない者の割合が高いという特徴がみられる²。

2. 研究の目的

我が国における医師不足、医師数の診療科、地域による偏在は現在深刻化しているが、女性医師が仕事と家庭の両立のために診療科や勤務地を選択したり、両立が図れず勤務を断念してしまうことが大きな要因の一つと考えられる。国家試験合格者の3割が女性である現在、女性医師が偏りなく専門分野を選択しやすく、勤務を継続できる環境を構築することが急務である。

本研究では、各診療科における勤務の特徴と抱える問題点、改善策を明らかにすることで、女性医師が臨床活動及び研究活動を継続でき、更には指導的立場となる女性医師の育成を図るための方策を検討し、今後の医学界に貢献できることを目的とした。

3. 研究の方法

- (1) 平成 22 年度は 1. 東京慈恵会医科大学女性卒業生を対象に研修場所や現在の勤務体制・個人生活や問題点などに関するアンケート調査を施行、2. 現場での診療専門分野においての問題点などを明らかにすべく、主任研究者の所属する学内でワークライフバランスに関するアンケート調査を実施した。この結果を含め、平成 23 年日本医学会総会シンポジウムにて発表した。

- (2) 平成 23 年度は 1. 現場での診療専門分野においての問題点などを明らかにすべく、平成 22 年に主任研究者の所属する学内でワークライフバランスに関するアンケート調査を実施したが、同様のアンケート調査を分担研究者の所属する学内で実施した。(2) 主任研究者の所属する学内で全診療科の医局長と面談形式のアンケートを施行し、女性医師支援やワークライフバランスに関する具体的支援策を調査検討した。また、(3) わが国での女性医師のキャリアやワークライフバランスへの認識を明らかにするために日本と米国、香港との 3 カ国の女性外科医を対象にアンケート調査を実施した。この結果は平成 23 年 8 月万国外科学会で発表した。

平成 24 年度は (1) 平成 23 年度に女性医師のキャリアやワークライフバランスへの認識を明らかにするために日本と米国、香港との 3 カ国の女性外科医を対象に施行したアンケート調査を論文化した。(2) 平成 23 年度に女性医師のキャリアやワークライフバランスへの認識を明らかにするために日本と米国、香港との 3 カ国の女性外科医を対象に施行したアンケート調査をバイアスを取り除くための統計処理を行い、再検討した。この結果は平成 24 年 4 月に開催された第 112 回日本外科学会定期学術集会にて発表した。

- (3) (1), (2) の結果から、女性医師がリーダーシップを発揮して行くことが今後重要との結果が認められたため、さらに、日米における現在のリーダー（外科教授や団体、会社のトップ）にアンケートを施行した。

4. 研究成果

本研究により、我が国での大学病院における診療科間での診療体制や診療内容の差と共通する問題点が浮かび上がった。また、日米

中国での国際比較をすることで、女性医師の抱える問題の国を超えた共通点や我が国特有の問題点が明らかになった。本研究を通して今後さらに検討し解決しなくてはならない課題も明らかになった。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 5 件)

- (1) Kwong A, Chau WW, Kawase K. Work-life balance of female versus male surgeons in Hong Kong based on findings of a questionnaire designed by a Japanese surgeon. Surg Today. 2013 Apr 18. [Epub ahead of print]
- (2) Kawase K, Kwong A, Yorozuya K, Tomizawa Y, Numann PJ, Sanfey H. The attitude and perceptions of work-life balance: a comparison among women surgeons in Japan, USA, and Hong Kong China. World J Surg. 査読有 37(2013):2-11.
- (3) 明石定子, 富澤康子, 野村幸世, 川瀬和美, 萬屋京子, 神林智寿子, 山下啓子, 前田耕太郎, 平田公一. 女性医師の課題 日本外科学会会員に対する学童期における両立の問題点に関するアンケートから. 乳癌の臨床. 査読有 27(2012):126-7.
- (4) 川瀬和美 他 4 名. 医学部卒業後の女性医師の進路—東京慈恵会医科大学女性卒業生へのアンケート結果から—. 東京慈恵会医科大学雑誌. 査読有 126(2011):163-8.
- (5) 富澤康子, 河野恵美子, 野村幸世, 明石定子, 川瀬和美, 他 2 名. 女性外科医の現在と未来 日本外科学会代議員の施設における女性勤務外

科医師に関する調査報告. 日外会誌. 査読有 112(2011):349-353.

[学会発表] (計 7 件)

- (1) 川瀬和美, 萬谷京子, 明石定子, 神林智寿子, 野村幸世, 富澤康子. 女性外科医のワークライフバランス—国際比較による我が国の現状と問題点. 第 112 回日本外科学会定期学術集会. 2012 年 04 月 12 日. 千葉
- (2) 川瀬和美. チャレンジ精神で進む人生とアメリカ留学で変わった人生観. 大阪府医師会女子医学生、研修医等をサポートするための会 (招待講演) 2011 年 12 月 10 日. 近畿大学医学部
- (3) 川瀬和美. 外科医の減少を食い止める! 女性外科医の立場から. 第 73 回日本臨床外科学会総会 2011 年 11 月, 東京
- (4) Kazumi Kawase et al. Career and private life in academic surgeon in Japan - Comparison with U.S. and HK China. ISW 2011. 2011 年 8 月 29 日. 横浜
- (5) 川瀬和美. チャレンジ精神で進む人生とアメリカ留学で変わった人生観. 岐阜大学医学部・附属病院第 5 回女性医師就労支援の会 (招待講演) 2011 年 6 月 2 日. 岐阜大学医学部
- (6) 川瀬和美. チャレンジ精神で進む人生とアメリカ留学で変わった人生観. 東京女子医科大学 男女共同参画推進局シンポジウム (招待講演) 2011 年 4 月 23 日. 東京女子医科大学
- (7) 川瀬和美. 外科における女性医師

の継続就労の問題点と他科から学
ぶ対策. 第 28 回日本医学会総会.
平成 23 年 4 月 9 日予定形式変更.

DVD 形式

[図書] (計 0 件)

[産業財産権]

○出願状況 (計 0 件)

名称:

発明者:

権利者:

種類:

番号:

出願年月日:

国内外の別:

○取得状況 (計 0 件)

名称:

発明者:

権利者:

種類:

番号:

取得年月日:

国内外の別:

[その他]

ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

川瀬 和美 (KAWASE KAZUMI)

東京慈恵会医科大学・医学部・講師

研究者番号: 50287306

(2) 研究分担者

野村 幸世 (NOMURA SACHIYO)

東京大学・医学部・准教授

研究者番号: 70301819

(3) 連携研究者

研究者番号: